

サウジアラビアの現況

LEAD THE VALUE

2017年9月
株式会社 三井住友銀行
コーポレート・アドバイザリー本部
企業調査部

- 本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。
- 本資料は、作成日時時点で弊行が一般に信頼できるとされる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を弊行で保証する性格のものではありません。また、本資料の情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがありますので、ご了承ください。
- ご利用に際しては、お客さまご自身の判断にてお取扱いいただきますようお願い致します。本資料の一部または全部を、電子的または機械的な手段を問わず、無断での複製または転送等することを禁じております。



三井住友銀行

■ Agenda

1

サウジアラビアの概況

P2

2

VISION 2030

P12

3

業界別の動向と政策の方向性

P20

1. サウジアラビアの概況

概要：基礎データ

- サウジアラビアは、サウード家が統治する王国で、中東で最大の国土面積を有し、2016年の原油埋蔵量・生産量は世界第2位の位置付けです。

基礎データ

項目	内容
面積	215万km ² (日本の約5.7倍)
人口 (2017年9月現在)	3,174万人 うち外国人1,168万人(37%)
首都	リヤド
民族	アラブ系90%、アジア・アフリカ系10%(2011年)
宗教	イスラム教ワッハーブ派(スンニ派の一派)80-90%、 シーア派10-20%
言語	アラビア語
名目GDP (2016年)	2兆3,986億サウジ・リアル(6,396億USドル) (1USドル=3.75サウジ・リアル)
業種別構成比 (上位5業種)	石油・ガス22%、政府サービス20%、金融・保険・不動産等14%、製造(含む石油精製)13%、卸売・小売・ 外食・ホテル12%
1人当りGDP (2016年)	19,612ドル

(出所) General Authority for Statisticsデータ、JCIFレポートより弊社作成

中東諸国との比較

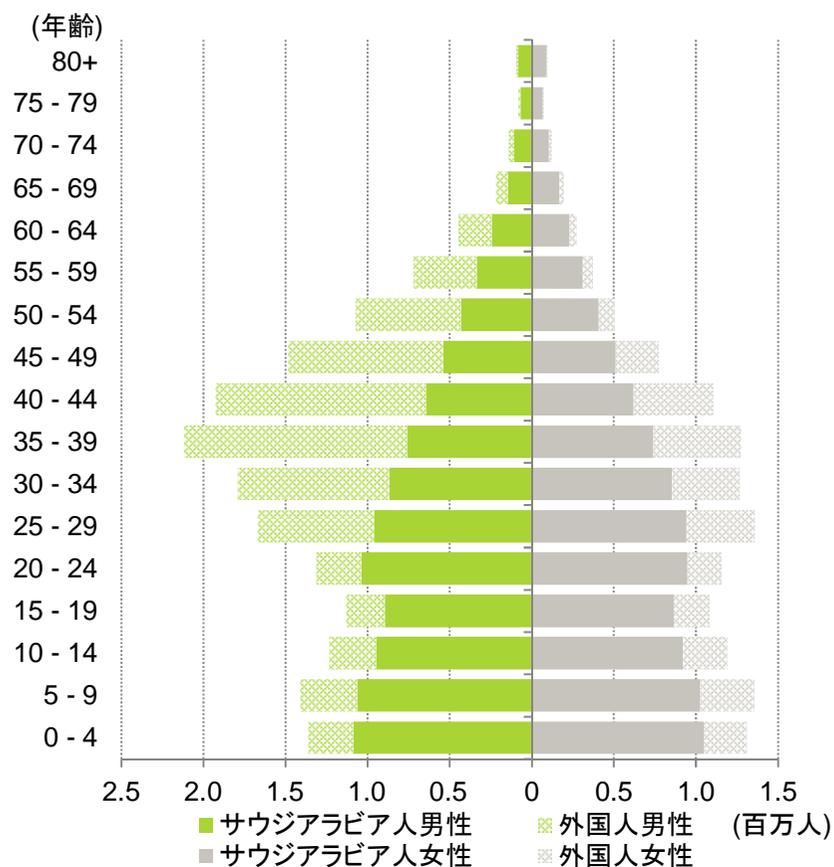
項目	サウジ アラビア	イラン	アラブ首長国 連邦(UAE)	カタール
面積	215万km ²	165万km ²	8.4万km ²	1.1万km ²
人口	3,174万人	7,992万人	826万人	262万人
民族	アラブ系 90% アジア・ア フリカ系10%	アーリア人 61% トルコ人 16% クルド人 10%等	UAE人 11.5% その他 88.5%	アラブ人 40% パキスタン人 18% インド人18% イラン人 10%等
宗教	イスラム教 ワッハーブ派 80-90% シーア派 10-20%	イスラム教 シーア派 90-95% スンニ派 5-10%	イスラム教 スンニ派80% シーア派16%	イスラム教 77.5% キリスト教 8.5%
名目GDP	6,396億ドル	3,329億ドル	3,490億ドル	1,495億ドル
石油・ガス 業界構成比	22%	16%	31%	30%
1人当りGDP	19,612ドル	5,887ドル	32,988ドル	58,247ドル

(出所) JCIFレポートより弊社作成

概要：人口構成・労働力

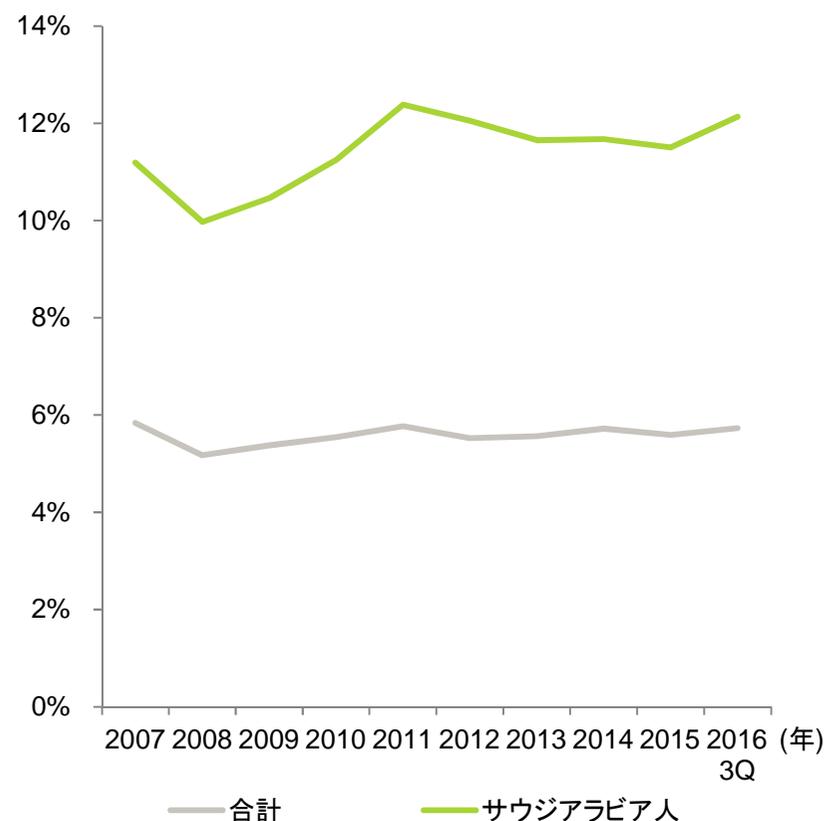
- サウジアラビアの人口をみれば、30～40代の男性労働者を中心として外国人が4割近くを占めています。
- 全体の失業率は6%弱で安定推移している一方、サウジアラビア人の失業率は12%を超えており、自国民失業率の低下が喫緊の課題となっています。

人口ピラミッド



(出所) General Authority for Statisticsデータより弊社作成

失業率推移



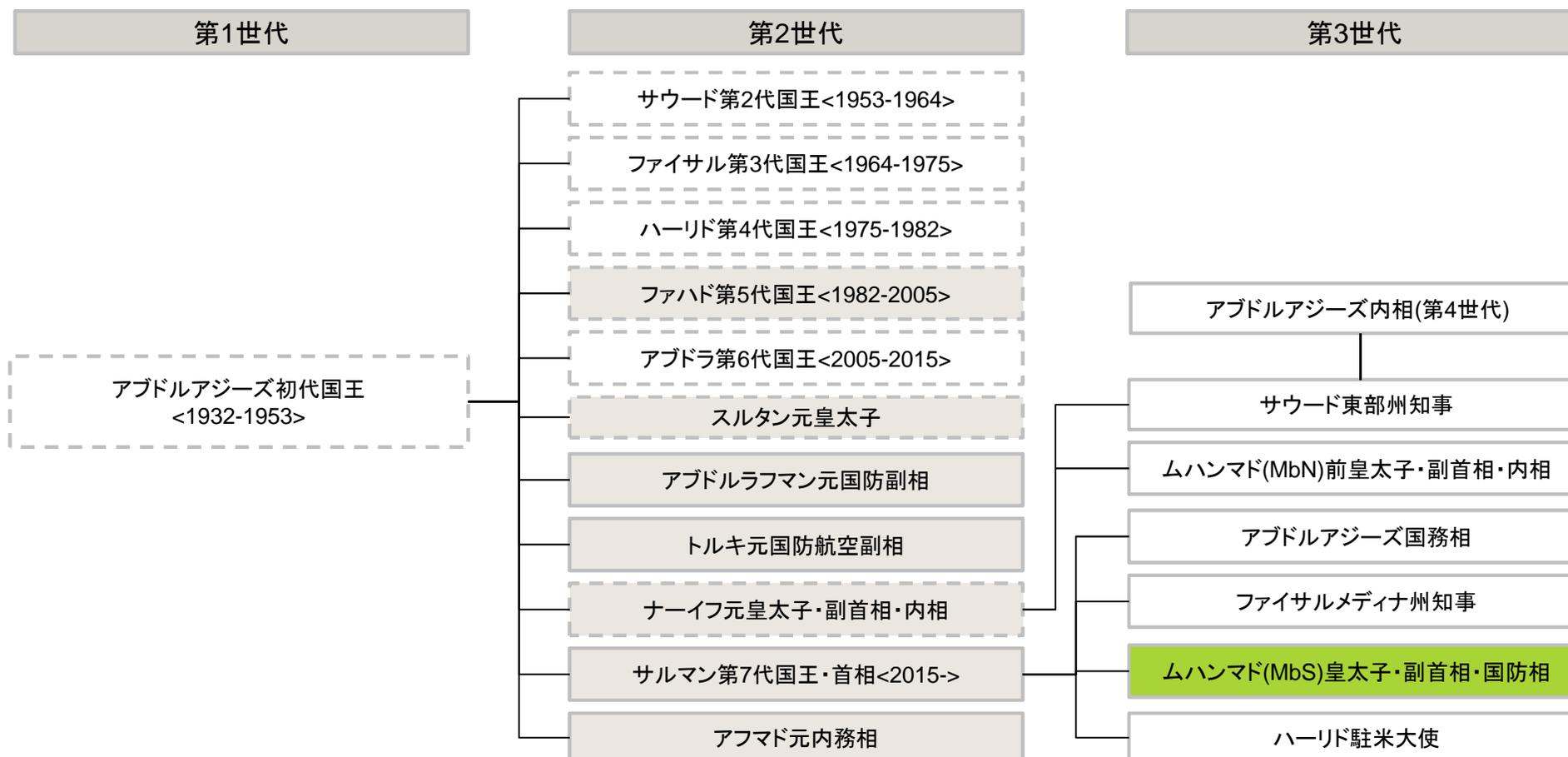
(注)2007年～2009年、2011年～2015年は下半期の実績。2010年は通年の実績。

(出所) General Authority for Statisticsデータより弊社作成

概要：サウード王家

- サルマン国王は、サウジアラビアを建国したアブドルアジーズの息子(第2世代)で、現在では第3世代が閣僚に名を連ねています。かかる中、国王は、2017年6月の勅令にて、甥のムハンマド・ビン・ナーフ(MbN)皇太子を全職位から解任し、息子のムハンマド・ビン・サルマン(MbS、当時副皇太子)を皇太子・副首相・国防相に任命しました。

サウード王家の主要人物



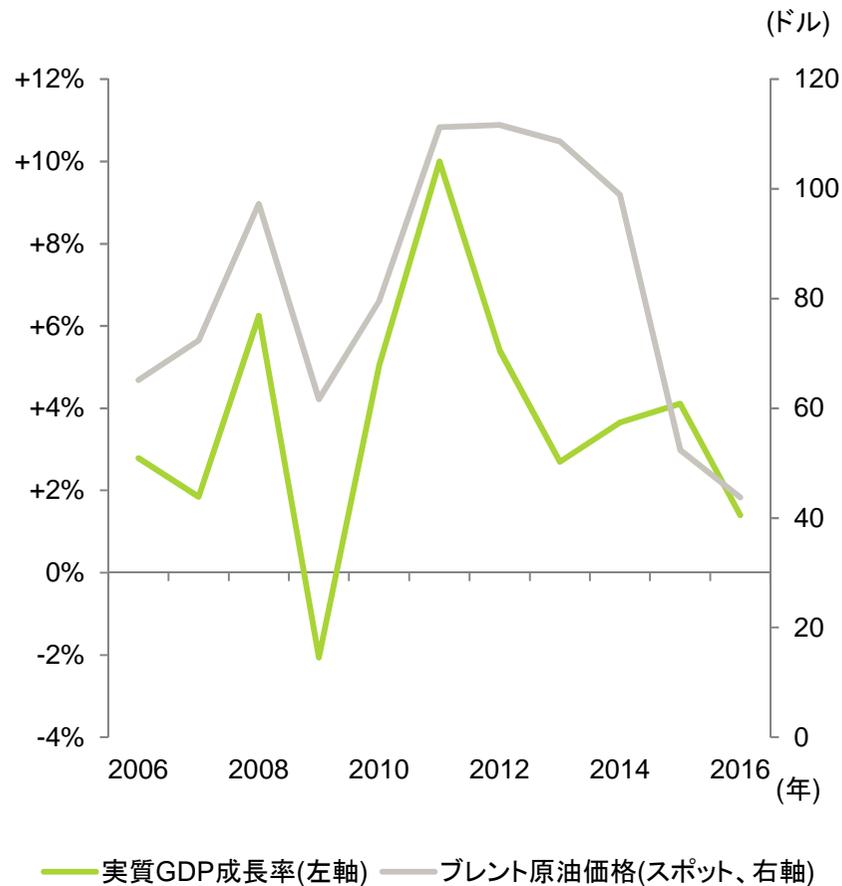
(注)<>内の数字は王位在位期間。点線は故人。灰色塗りの人物はズデイリセブン(ズデイリ家出身で、王室内で特に権力を有する7人の総称<3名は故人>)。

(出所) 在サウジアラビア日本国大使館資料、JCIF資料より弊行作成

経済動向：GDP

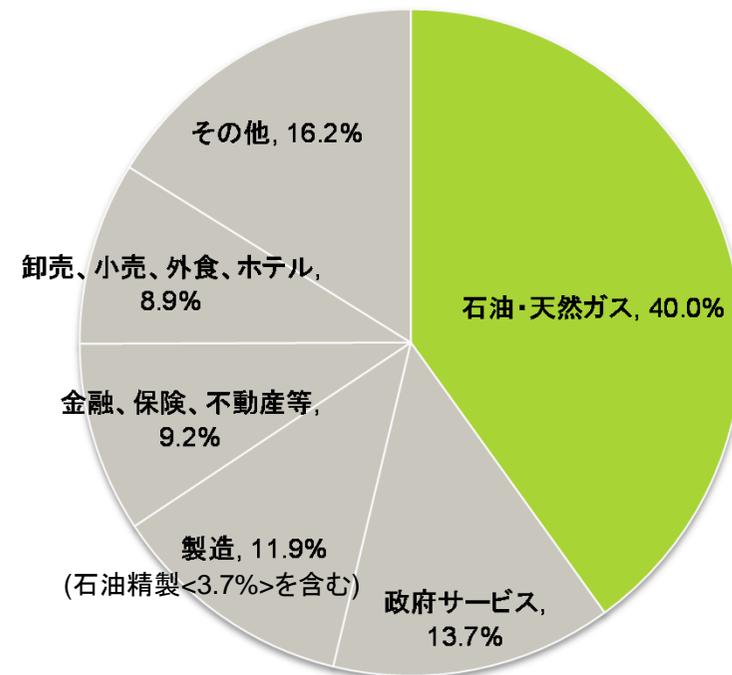
- サウジアラビア経済は、石油に依存してきた経緯があり、近年では原油価格の下落によりGDP成長率も低下傾向で推移していますが、足元においても石油・天然ガス部門がGDPの4割を占めています。

実質GDP成長率推移



(出所) BP「Statistical Review of World Energy June 2017」, General Authority for Statisticsデータ、より弊社作成

GDP業種別構成比(2016年)



(出所) General Authority for Statisticsデータより弊社作成

■ 経済動向：輸出

- 輸出製品は、石油、石油製品及び化学品が大部分を占めています。一方、輸出先は石油消費量の多い中国や日本、米国が上位を占めていますが、比較的分散されています。

品目別輸出動向(2016年)

品目	百万USドル	
	金額	構成比
石油、石油製品	131,909	71.9%
合成樹脂(一次製品)	13,874	7.6%
有機化学品	8,815	4.8%
天然ガス、都市ガス	4,290	2.3%
その他輸送機器	2,993	1.6%
無機化学品	1,529	0.8%
非鉄金属	1,508	0.8%
乳製品、卵	1,198	0.7%
自動車	1,085	0.6%
肥料	903	0.5%
その他	15,476	8.4%
計	183,579	100.0%

(出所) General Authority for Statisticsデータより弊社作成

国別輸出動向(2016年)

国	百万USドル	
	金額	構成比
中国	21,311	11.6%
日本	19,291	10.5%
米国	17,634	9.6%
インド	17,035	9.3%
韓国	15,315	8.3%
UAE	12,041	6.6%
シンガポール	8,901	4.8%
台湾	5,284	2.9%
バーレーン	4,769	2.6%
ベルギー	4,291	2.3%
その他	57,707	31.4%
計	183,579	100.0%

(出所) General Authority for Statisticsデータより弊社作成

■ 経済動向：輸入

- 自動車や機械、電気機器が輸入品の上位を占めています。
- 輸入品を国別にみれば、米国や日本、韓国は輸送機器に強い一方、中国は電気機器、ドイツやフランスは医薬品が主要製品となっています。

品目別輸入動向(2016年)

品目	百万USドル	
	金額	構成比
自動車	18,118	12.9%
一般産業機械・同部品	9,773	7.0%
電気機器・同部品	7,482	5.3%
通信機器	7,419	5.3%
鉄鋼	5,862	4.2%
医療機器・医薬品	5,256	3.7%
穀物・同調製品	4,877	3.5%
その他輸送機器	4,134	2.9%
発電機器	4,028	2.9%
衣料品・アクセサリ	3,747	2.7%
その他	69,474	49.6%
計	140,170	100.0%

(出所) General Authority for Statisticsデータより弊社作成

国別輸入動向(2016年)

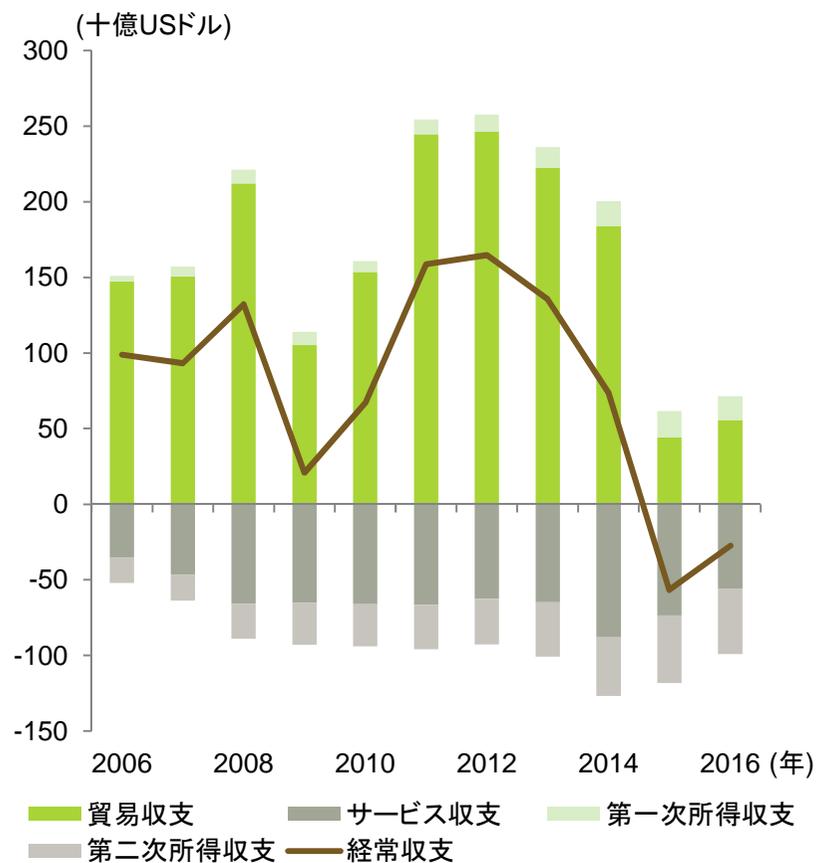
国	主要製品	百万USドル	
		金額	構成比
米国	航空機部品、自動車	20,727	14.8%
中国	携帯電話、PC	20,082	14.3%
ドイツ	タバコ、医薬品、自動車	9,155	6.5%
UAE	金	7,631	5.4%
日本	自動車	7,419	5.3%
韓国	自動車	6,221	4.4%
インド	米、ベンゼン	5,243	3.7%
フランス	医薬品、冷凍食肉、香水	4,935	3.5%
イタリア	バルブ、コック、医薬品	4,624	3.3%
英国	航空機部品、医薬品	3,314	2.4%
その他	-	50,818	36.3%
計	-	140,170	100.0%

(出所) General Authority for Statisticsデータより弊社作成

経済動向：経常収支・財政収支

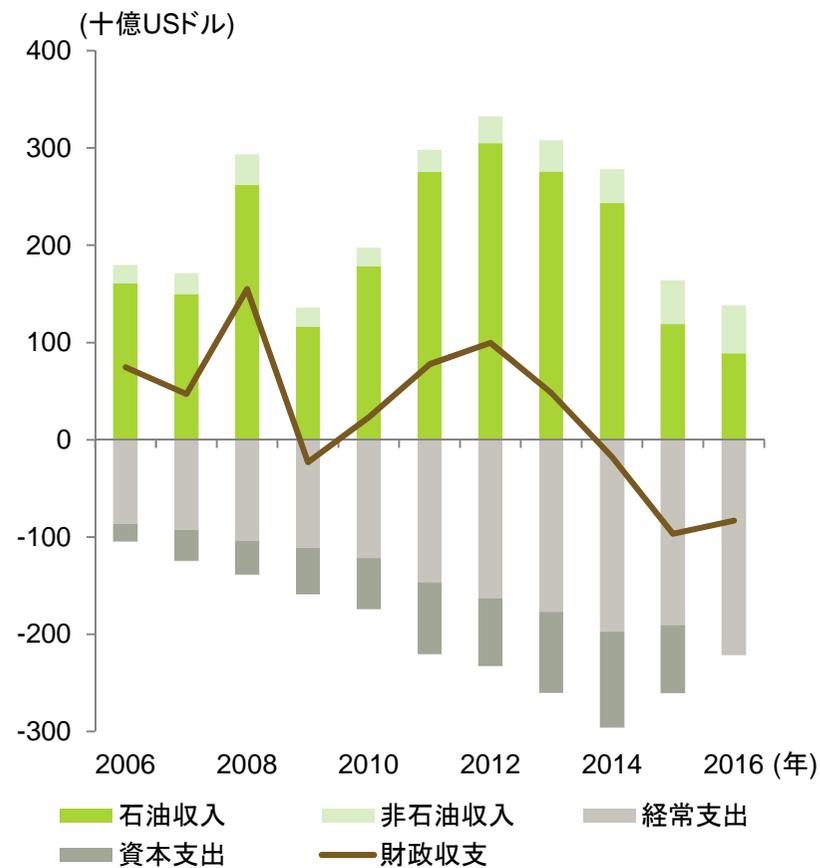
- 経常収支は、原油価格により大きく変動しており、足元の価格低迷により15年から経常赤字に転落しています。
- 財政収支は、非石油収入の拡大や歳出の削減を進めているものの、石油収入の減少により財政赤字が続いている状況です。

経常収支



(出所) Saudi Arabian Monetary Authority(SAMA)データより弊社作成

財政収支



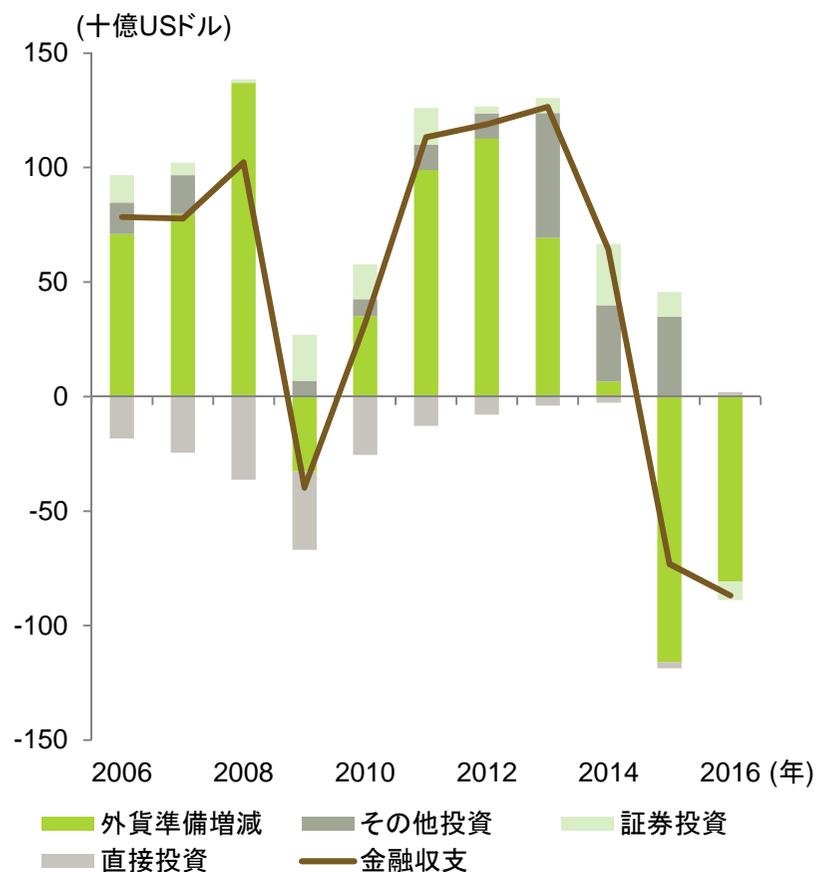
(注)2016年の支出は経常支出と資本支出の合計。

(出所) SAMAデータより弊社作成

経済動向：金融収支・対内直接投資

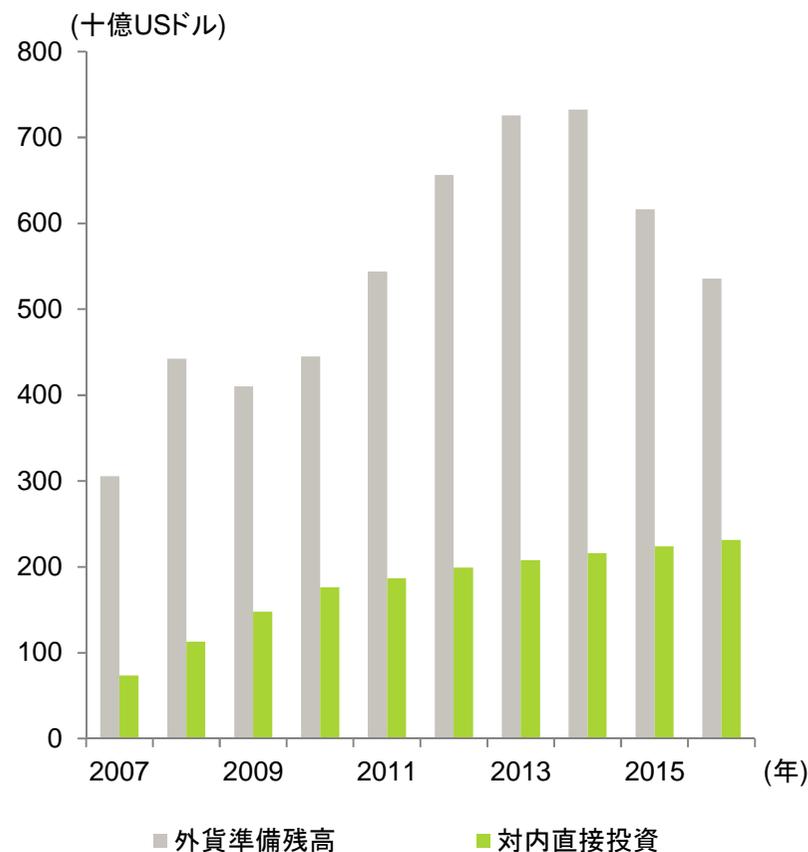
- 金融収支をみれば、15年以降、外貨準備を取り崩すことで経常赤字を穴埋めしている状況です。
- 対内直接投資は、インフラプロジェクトの増加等を背景に拡大しているものの、足元ではやや鈍化しています。

金融収支



(出所) SAMAデータより弊社作成

外貨準備残高、対内直接投資推移

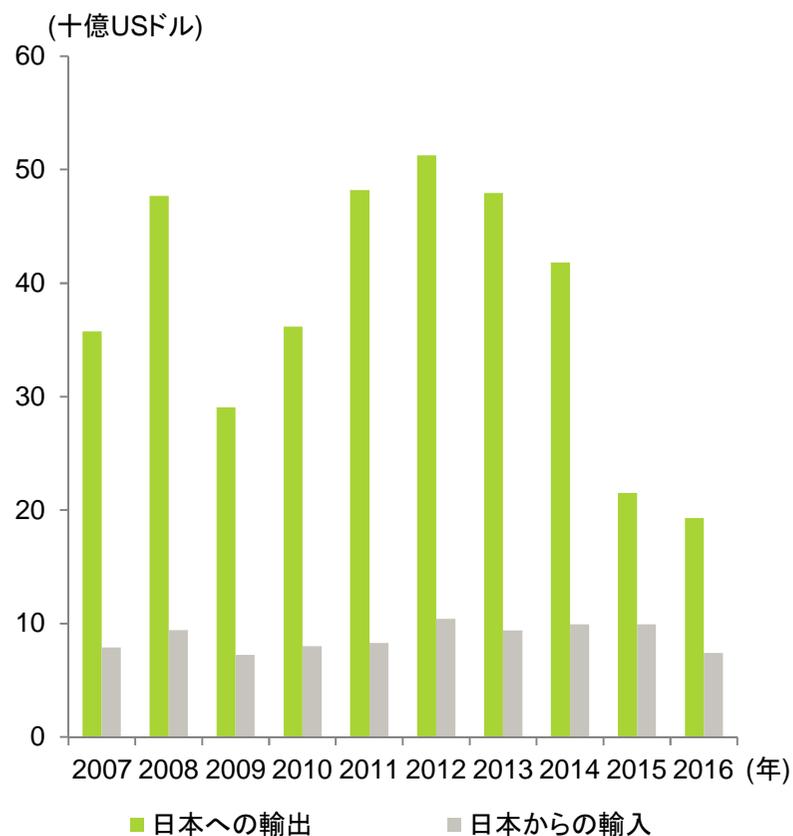


(出所) SAMAデータより弊社作成

日本との関係

- 対日輸出の製品別内訳をみれば、原油等が大部分を占めているため、輸出金額は原油価格に大きく左右されます。一方、対日輸入をみれば、自動車但凡そ6割を占める主要製品となっています。

日本-サウジアラビア間の輸出入金額推移



(出所) General Authority for Statisticsデータより弊社作成

日本-サウジアラビアの製品別輸出入額(2016年)

百万USドル

日本への輸出品	金額	構成比
原油等(鉱物資源)	18,585	96.3%
アルミニウム製品	274	1.4%
有機化学品	213	1.1%
合成樹脂製品	96	0.5%
銅製品	88	0.5%
その他	35	0.2%
計	19,291	100.0%

日本からの輸入品	金額	構成比
自動車・同部品	4,289	57.8%
機械製品・同部品	985	13.3%
電気機器・同部品	343	4.6%
ゴム製品	329	4.4%
鉄鋼製品	314	4.2%
その他	1,159	15.6%
計	7,419	100.0%

(出所) General Authority for Statisticsデータより弊社作成

2. VISION 2030

3本の柱・3つのテーマ

- サウジアラビア政府は2016年4月に、2030年の目標をまとめた経済改革計画「VISION 2030」を公表しました。
- 当該計画では、サウジアラビアが向かっていくべき将来像として3本の柱を示し、またビジョンの土台として3つのテーマを掲げています。

3本の柱

アラブとイスラム世界の中心

グローバルな投資大国

3大陸を結ぶ交通の拠点

3つのテーマ

活気ある社会

確立された価値

強固な基盤

生活の充足

野心的な国家

効果的な
ガバナンス

実現に向けた
我々の責任

盛況な経済

豊富な機会

オープンな
ビジネス

長期目線での
投資

地理的優位性
の活用

(出所) Saudi Vision 2030資料より弊社作成

2030年までの達成目標～活気ある社会

- 3つのテーマにはそれぞれ数値目標があり、「活気ある社会」においては、住みやすい都市づくりや自国民の文化・娯楽活動への支出増加、平均寿命の引き上げなどを達成するとしています。

確立された価値

	現在(注1)	2030年
ウムラ(注2)の受入許容者数	800万人	3,000万人
ユネスコ世界遺産登録数	4件	2倍以上

(注1)「現在」欄の各数値は、「VISION 2030」策定時の値。

(注2) 年間を通じて行われる巡礼(小巡礼)のこと。巡礼月に行われるのがハッジ(大巡礼)。

強固な基盤

	現在	2030年
OECD社会関係資本指数(注)(世界ランク)	26位	10位
平均寿命	74歳	80歳

(注) 社会や地域の信頼関係等を評価したもの。

生活の充足

	現在	2030年
住みやすい都市	2030年に、3都市が世界トップ100位以内	
文化・娯楽活動への支出(対総家計支出)	2.9%	6.0%
最低週1回運動する人の割合	13%	40%

(出所) Saudi Vision 2030資料より弊社作成

2030年までの達成目標～盛況な経済

- 「盛況な経済」についてみれば、石油依存からの構造転換に向けて、非石油製品の輸出増加や民間部門の成長を打ち出しており、加えて失業率低下や女性の社会進出といった労働環境改善、及び経済規模・海外直接投資の拡大等を目標に掲げています。

豊富な機会

	現在	2030年
失業率	11.6%	7.0%
中小企業の貢献 (GDPに占める割合)	20%	35%
女性の労働力 (全体に占める割合)	20%	30%

長期目線での投資

	現在	2030年
経済規模(世界ランク)	19位	15位
石油・ガス部門国内化 (全体に占める割合)	40%	75%
公的投資資金	0.6兆RIs	7兆RIs

オープンなビジネス

	現在	2030年
国際競争力指数(注) (世界ランク)	25位	10位
海外直接投資 (対GDP)	3.8%	5.7%
GDPに占める 民間部門の貢献割合	40%	65%

(注) 世界経済フォーラムが公表する指標。マクロ経済環境やイノベーションなど12項目を評価。

地理的優位性の活用

	現在	2030年
物流効率指数(注) (世界ランク)	49位	25位
非石油製品の輸出 (対GDP<除く石油>)	16%	50%

(注) 世界銀行が公表する指標。貿易・物流の効率性を評価。

(出所) Saudi Vision 2030資料より弊社作成

2030年までの達成目標～野心的な国家

- 「野心的な国家」に関しては、行政面での施策の質や実効性向上、電子政府の推進、家計における貯蓄の増加などを目標としています。

効果的なガバナンス

	現在	2030年
非石油政府収入	1,630億Rls	1兆Rls
政府有効性指数(注1)	80位	20位
電子政府開発指数(注2)	36位	トップ5

(注1) 世界銀行が公表する指標。行政サービスの質、政策及びその実効性などを評価。

(注2) 国連が公表する指標。電子政府に対する取り組みを調査。

実現に向けた我々の責任

	現在	2030年
貯蓄(対家計収入)	6%	10%
GDPに占める非営利部門の割合	1%未満	5%
年間のボランティア人数	1.1万人	100万人

(出所) Saudi Vision 2030資料より弊社作成

(参考)各指標におけるサウジアラビアの位置付け(Vision 2030公表時)①

名目GDP(2014年)

順位	国名	10億USドル 名目GDP
1	米国	17,393
2	中国	10,535
3	日本	4,849
4	ドイツ	3,885
5	英国	3,002
6	フランス	2,844
7	ブラジル	2,456
8	イタリア	2,155
9	ロシア	2,064
10	インド	2,034
11	カナダ	1,793
12	オーストラリア	1,449
13	韓国	1,411
14	スペイン	1,378
15	メキシコ	1,298
16	トルコ	934
17	インドネシア	891
18	オランダ	881
19	サウジアラビア	756
20	スイス	703

目標: 15位

(出所) IMF「World Economic Outlook April 2017」
より弊社作成

国際競争力指数(2015-2016)

順位	国名
1	スイス
2	シンガポール
3	米国
4	ドイツ
5	オランダ
6	日本
7	香港
8	フィンランド
9	スウェーデン
10	英国
11	ノルウェー
12	デンマーク
13	カナダ
14	カタール
15	台湾
25	サウジアラビア

目標: 10位

(出所) World Economic Forum「The Global
Competitiveness Report 2015-2016」より弊社作成

物流効率指数(2014年)

順位	国名
1	ドイツ
2	オランダ
3	ベルギー
4	英国
5	シンガポール
6	スウェーデン
7	ノルウェー
8	ルクセンブルグ
9	米国
10	日本
21	韓国
22	オーストリア
23	ニュージーランド
24	フィンランド
25	マレーシア
49	サウジアラビア

目標: 25位

(出所) 世界銀行データより弊社作成

(参考)各指標におけるサウジアラビアの位置付け(Vision 2030公表時)②

政府有効性指数(2014年)

順位	国名
1	シンガポール
2	スイス
3	フィンランド
4	ニュージーランド
5	香港
6	オランダ
7	日本
8	ノルウェー
9	デンマーク
10	スウェーデン
11	カナダ
12	ドイツ
13	リヒテンシュタイン
14	アンドラ
15	ルクセンブルグ
16	英国
17	アイルランド
18	オーストラリア
19	オーストリア
20	アイスランド
80	サウジアラビア

目標: 20位

(出所) 世界銀行データより弊社作成

電子政府開発指数(2014年)

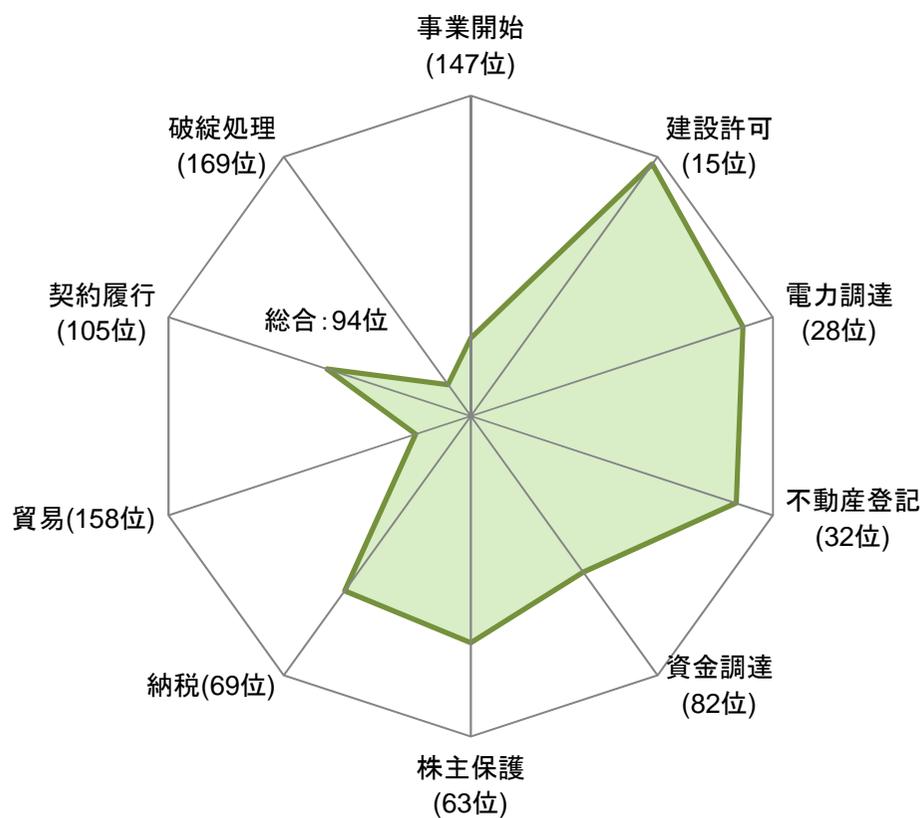
順位	国名
1	韓国
2	オーストラリア
3	シンガポール
4	フランス
5	オランダ
6	日本
7	米国
8	英国
9	ニュージーランド
10	フィンランド
11	カナダ
12	スペイン
13	ノルウェー
14	スウェーデン
15	エストニア
16	デンマーク
17	イスラエル
18	バーレーン
19	アイスランド
20	オーストリア
36	サウジアラビア

目標: 5位

(出所) 国連「E-GOVERNMENT SURVEY 2014」
より弊社作成

(参考)世界銀行ビジネス環境ランキング

世界銀行ビジネス環境ランキング(2017年)



中東諸国との比較(数値はランキング)

	サウジアラビア	イラン	UAE	カタール
総合ランク	94	120	26	83
事業開始	147	102	53	91
建設許可	15	27	4	21
電力調達	28	94	4	44
不動産登記	32	86	11	26
資金調達	82	101	101	139
株主保護	63	165	9	183
納税	69	100	1	1
貿易	158	170	85	128
契約履行	105	70	25	120
破綻処理	169	156	104	116

(出所) 世界銀行「Doing Business 2017」より弊社作成

3. 業界別の動向と政策の方向性

日・サウジ間の重点協力分野

- 日・サウジ両政府は、17年3月にサルマン国王が来日した際、重点協力分野として下記9項目を設定しました。
- これに併せて、日・サウジの企業・機関はビジネスフォーラムを開催し、協力内容に関する覚書を締結しました。

日・サウジ・ビジョン2030における重点協力分野

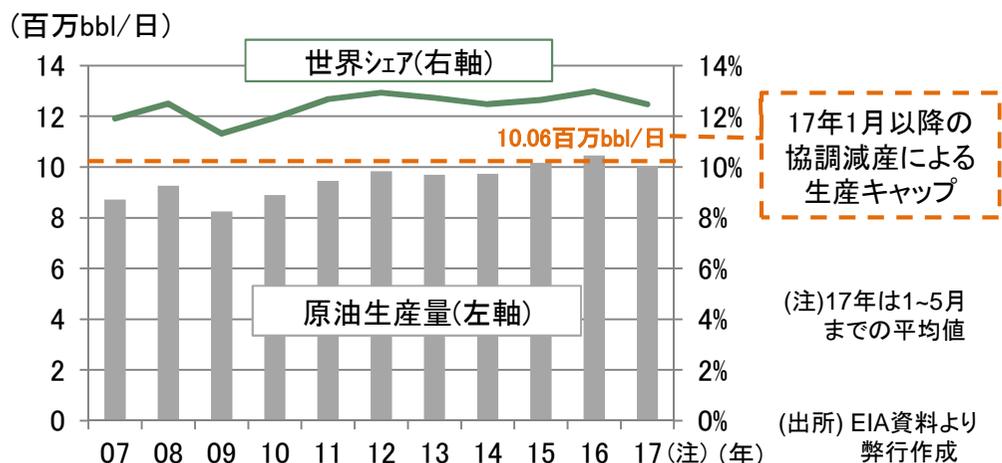
	重点分野	17/3月にサウジアラビア企業・機関と協力覚書を締結した日系企業・機関	関連業界
1	競争力のある産業	トヨタ自動車、日揮、TBM、伊藤忠丸紅鉄鋼	製造業(自動車、石油化学等)
2	エネルギー	JXTGホールディングス、出光興産、横河電機、JOGMEC	①石油・ガス
3	エンターテインメント・メディア	-	②電力・再生可能エネルギー
4	健康・医療	サイバーダイナ	③ヘルスケア
5	農業・食料	メビオール	④食品・飲料
6	質の高いインフラ	JFEエンジニアリング、東洋紡、ササクラ、東京電力ホールディングス、凸版印刷	⑤水インフラ
7	中小企業・能力開発	-	⑥建設・不動産
8	文化・スポーツ・教育	-	網掛けの業界については次頁以降で詳述
9	投資・ファイナンス	日本証券取引所グループ、三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行、三井住友銀行	

(出所) 外務省・経済産業省資料より弊社作成

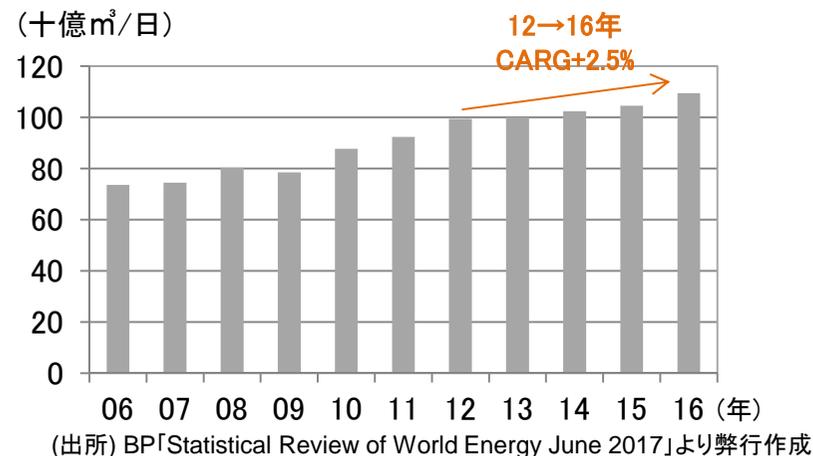
①石油・ガス：足元の動向

- 原油生産量は09年以降増加傾向で推移してきましたが、17年は1月以降の協調減産により減少しています。
- 他方、ガス生産量及び石油精製量は、原油依存脱却に向けた政府の取組により、足元増加しています。

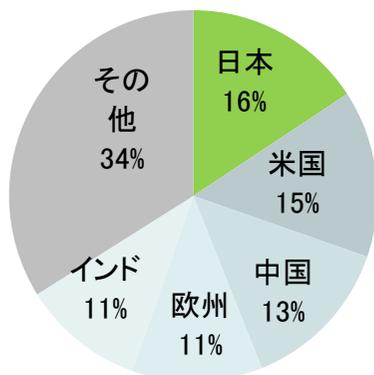
原油生産量と日・サウジ間の貿易状況



ガス生産量

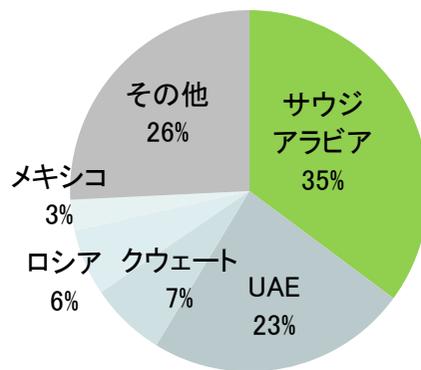


<サウジアラビアの原油輸出先(16年)>

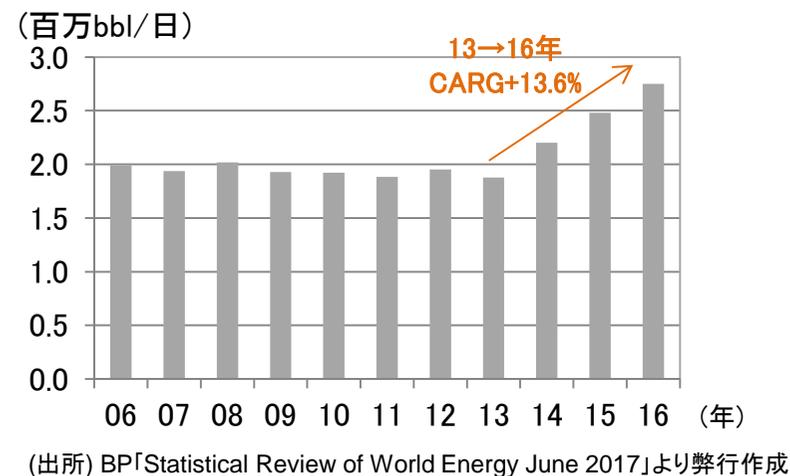


(出所) BP「Statistical Review of World Energy June 2017」より弊行作成

<日本の原油輸入元(16年)>



石油精製量



①石油・ガス：政策の方向性と日系企業の事業機会

- 政府は今後も原油依存脱却に向けてガス田開発及び石油精製能力拡大を進める方針にある他、石油・ガス関連技術の内製化等によるエネルギーセクターの競争力強化を目指しています。

石油・ガスに関する政策の方向性と日系企業の事業展開の可能性

政策の方向性・KPI(括弧内は数値目標の単位)		現状	目標 (注1)	日系企業の事業展開の可能性
ガス生産・石油精製能力拡大	ドライガス(注2)生産能力の拡大 (億立方ft/日)	120	178	
	石油精製能力の拡大 (百万bbl/日)	2.9	3.3	
エネルギーセクターの競争力強化	石油・ガス関連技術の内製化	40%	75%	石油精製
	サウジアラムコを石油生産大手からグローバル複合企業に変革	-	-	

(注1)2020年の目標値(見直しの可能性有り)。

(注2)天然ガスは大きく、油田に並存する随伴性ガスとガス田に存在する非随伴性ガスに分かれ、後者のうちメタン等軽量のガスを多く含むものがドライガスと呼ばれる。

(出所) Saudi Vision 2030資料、外務省・経済産業省資料より弊社作成

②電力・再生可能エネルギー：足元の動向

- サウジアラビアの発電電力量は年率+7%で増加しています（産業向け、公共・民間サービス向けが特に伸長）。
- 電源構成をみると、石油の割合が他国と比べて高く、再生可能エネルギーの普及は限定的となっています。

発電電力量における電源構成

単位:GWh

電力源	サウジアラビア			(参考)イラン			(参考)UAE			(参考)カタール		
	15年	構成比	10-15年CAGR	15年	構成比	10-15年CAGR	15年	構成比	10-15年CAGR	15年	構成比	10-15年CAGR
ガス	188,804	56%	+11.3%	222,448	80%	+4.7%	125,488	98%	+5.4%	41,499	100%	+8.1%
石油・石炭	149,531	44%	+3.0%	40,945	15%	-2.5%	1,582	1%	+1.8%	0	0%	-
原子力	0	0%	-	2,914	1%	-	0	0%	-	0	0%	-
水力	0	0%	-	14,090	5%	+8.1%	0	0%	-	0	0%	-
太陽光・太陽熱	1	0%	-	1	0%	-	296	0%	-	0	0%	-
風力	0	0%	-	221	0%	+6.3%	0	0%	-	0	0%	-
バイオ燃料	0	0%	-	14	0%	+7.0%	0	0%	-	0	0%	-
輸出入	0	0%	-	-2,674	-1%	-	42	0%	-	0	0%	-
合計	338,336	100%	+7.1%	277,959	100%	+3.9%	127,408	100%	+5.4%	41,499	100%	+8.1%

(出所) IEA資料より弊社作成

②電力・再生可能エネルギー：政策の方向性と日系企業の事業機会

- 政府は、原子力・再生可能エネルギー発電等代替エネルギーの確保に加え、停電頻度の低減等に向けた電力インフラ整備、再生可能エネルギーの関連技術・資材の内製化等を進める方針にあります。

電力・再生可能エネルギーに関する政策の方向性と日系企業の事業展開の可能性

政策の方向性・KPI(括弧内は数値目標の単位)			現状	目標
電力	インフラ整備	発電効率の改善	33%	40%
		停電発生頻度の低減(回/年)	6.4	3
		平均停電時間の短縮(分)	262	120
	代替電源の確保	原子力・再生可能エネルギー発電の導入・推進、人材育成	-	-
民間・海外資本活用	戦略的パートナー(注)を通じた発電比率の増加	27%	100%	
再生可能エネルギー	再生可能エネルギーの利用拡大	発電能力の拡大(MW)	0	3,450
		再生可能エネルギー比率の引上げ	0%	4%
	関連技術・資材の内製化	資材等の現地調達比率引上げ	25%	35%

日系企業の事業展開の可能性

発電所・変電所の新設、
関連資材・機器(高効率太陽光
パネル等)の販売

再生可能エネルギー
プロジェクトへの参画

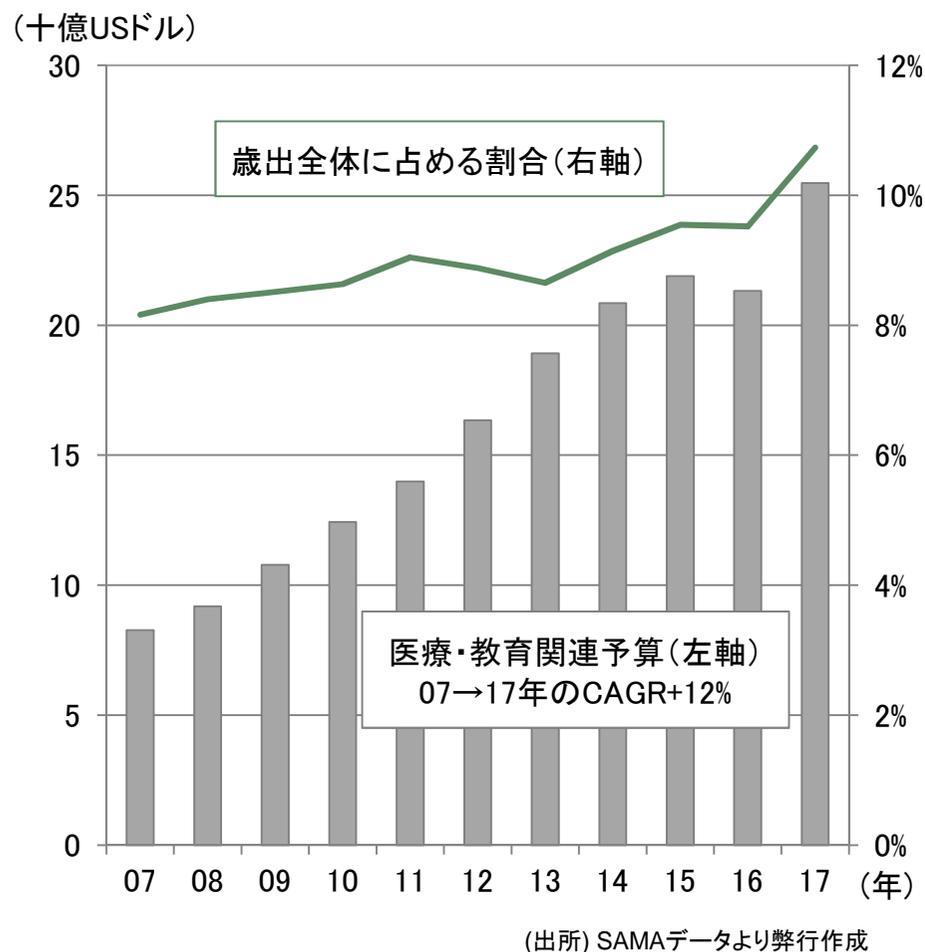
(注) サウジアラビア国内の民間企業並びに同国が戦略的パートナーシップを締結した国の企業・機関

(出所) Saudi Vision 2030資料、外務省・経済産業省資料より弊社作成

③ヘルスケア：足元の動向

- サウジアラビアでは病院の7割を政府が運営しており、財政状況に影響を受け易い傾向があります。
- 医薬品市場は中東諸国の中で最も大きく、生活習慣病患者の増加等を背景に今後も拡大が見込まれています。

医療・教育関連予算



病院・ベッド数

		16年	構成比	12→16年 CAGR
病院数 (院)	公的	318	68%	+1.6%
	民間	152	32%	+2.6%
	合計	470	100%	+2.0%
ベッド数 (床)	公的	53,416	75%	+3.3%
	民間	17,428	25%	+5.3%
	合計	70,844	100%	+3.8%

(出所) General Authority for Statisticsデータより弊社作成

医薬品市場の比較

(単位：十億USDドル、USDドル/人)

		サウジ アラビア	イラン	UAE	カタール
医薬品売上高(16年)		7.4	2.0	2.6	0.6
年平均 成長率	11-16年	+8.7%	-9.4%	+9.1%	+8.8%
	16-21年E	+4.5%	+8.4%	+8.0%	+5.8%
人口当たり売上高(16年)		232	25	282	216
年平均 成長率	11-16年	+6.4%	-10.5%	+7.7%	+3.0%
	16-21年E	+2.8%	+7.3%	+6.5%	+3.7%

(出所) BMIより弊社作成

③ヘルスケア：政策の方向性と日系企業の事業機会

- 政府は、民間資本の活用等を通じた医療サービス及び医療アクセスの改善に加え、医薬品の現地生産比率上昇、医療製品の安全性向上に向けたトレーサビリティシステムの確立を目指しています。

ヘルスケアに関する政策の方向性と日系企業の事業展開の可能性

政策の方向性・KPI(括弧内は数値目標の単位)		現状	目標
医療サービス・アクセスの改善	主要病院で4時間以内に救急治療を受けられる患者の増加	40%	75%
	米国の標準的医療に適合する病院の増加	10%	50%
	医療施設における決算内容やサービスレベルの報告実施	10%	100%
	サウジ人における電子カルテの普及率上昇	0%	70%
民間資本の活用	政府の医療施策に貢献する民間セクターの売上拡大(億ドル)	0.8	10.7
	メディカルツーリズムの推進	-	-
現地化	医薬品の現地生産比率上昇	20%	40%
安全性向上	工場・倉庫の検査及び港湾等での製品検査の実施	計算中	100%
	医療製品流通におけるトレーサビリティシステムの確立	0%	100%

日系企業の事業展開の可能性

現地医療機関や卸事業者等との提携による高度な医療サービスの提供、メディカルツーリズムの推進、医療機器・医薬品の開発・生産・販売

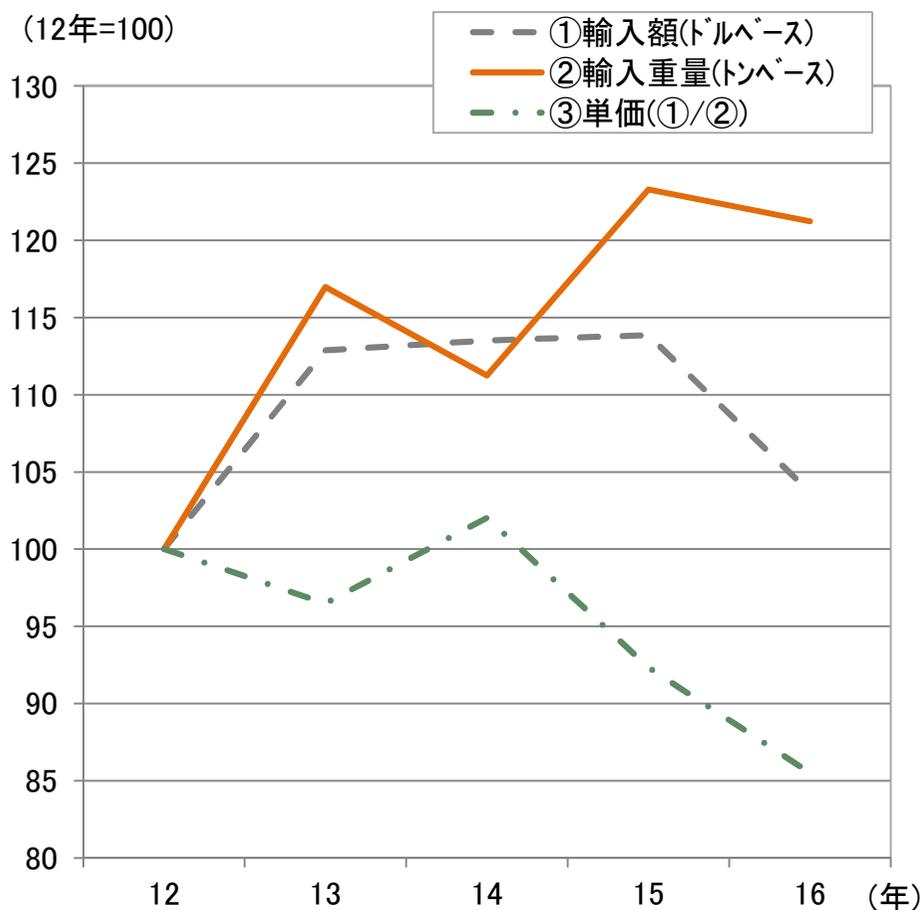
電子カルテやトレーサビリティに関するシステムの構築

(出所) Saudi Vision 2030資料、外務省・経済産業省資料より弊社作成

④食品・飲料：足元の動向

- サウジアラビアは食糧の約7割を輸入に依存しており、輸入量は、人口増(12-16年は年率+2.6%で増加)や加工食品等の需要拡大を背景として、年率+4%程度で増加しています。

食品・飲料の輸入動向



(出所) General Authority for Statisticsデータより弊社作成

品目別の輸入動向

	輸入額(百万ドル)		輸入重量(千トン)	
	16年	12→16年 CAGR	16年	12→16年 CAGR
穀物とその加工品	4,877	-3.7%	16,099	+3.4%
野菜、果物	3,274	+6.4%	3,679	+3.7%
肉類	2,377	-2.3%	1,126	+2.8%
乳製品・鶏卵	1,951	-0.2%	633	+4.0%
コーヒー・紅茶・ココア ・香辛料とその加工品	1,575	+3.0%	360	+5.2%
砂糖・砂糖調製品・はちみつ	995	+6.6%	1,813	+17.0%
動物(生きているもの)	903	+3.7%	247	-3.0%
魚類・甲殻類・軟体動物等 とその加工品	619	-0.3%	234	+0.5%
飲料	225	-1.3%	224	+6.8%
その他食品	2,191	+2.9%	406	+3.4%
合計	18,987	+0.6%	24,821	+4.1%

(出所) General Authority for Statisticsデータより弊社作成

④食品・飲料：政策の方向性と日系企業の事業機会

- 政府は、食糧の安全供給体制構築、食品の安全性向上、健康増進に加え、ハラール認証拠点としての世界的な地位の確立を目指しています。

食品・飲料に関する政策の方向性と日系企業の事業展開の可能性

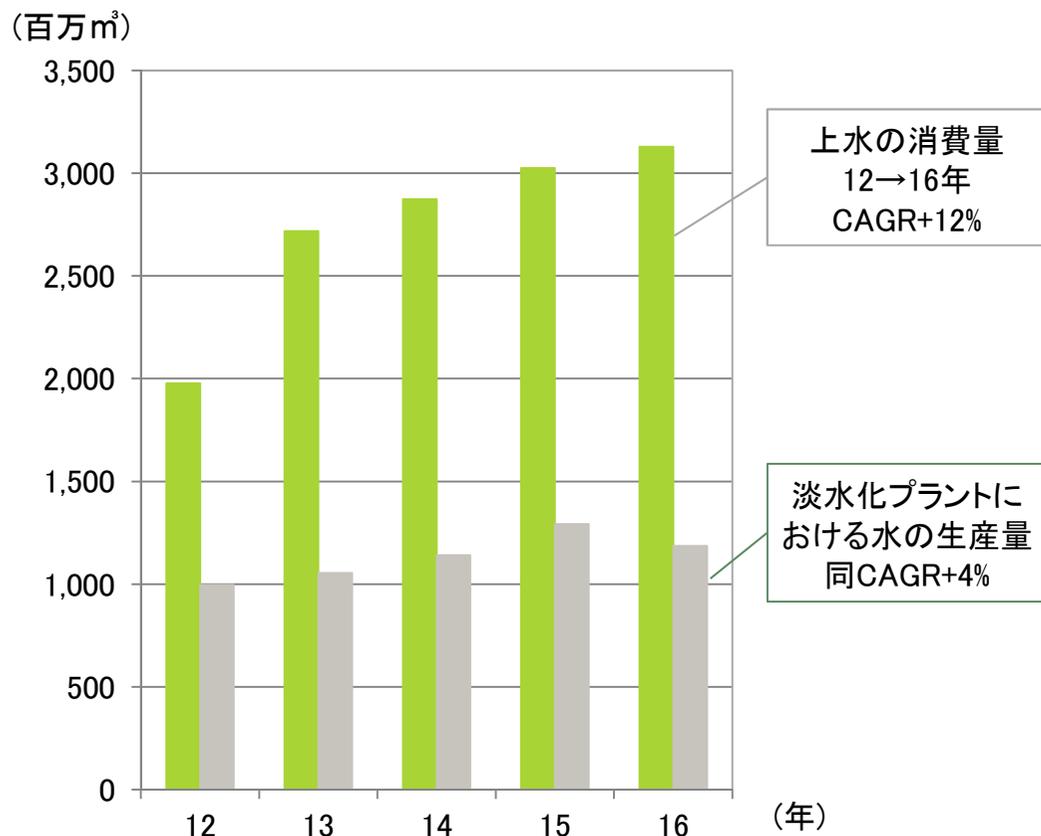
政策の方向性・KPI(括弧内は数値目標の単位)		現状	目標	日系企業の事業展開の可能性
食糧の安定供給体制構築	養殖魚の生産量拡大(千トン)	30	100	
	鶏肉の自給率引上げ	42%	60%	
	野菜の生産性向上(トン/ヘクタール)	21	22.8	
安全性の確保	国民の食の安全性に対する満足度向上	30%	70%	植物工場の新設
	工場・倉庫の検査及び港湾等での製品検査の実施	NA	100%	
健康増進	エナジードリンク・糖分を含む飲料に対する課税	17/6月実施		ハラール認証取得製品のイスラム諸国での販売
ハラール認証拠点としての世界的な地位確立	ハラール認証製品の増加	NA	検討中	

(出所) Saudi Vision 2030資料、外務省・経済産業省資料より弊社作成

⑤水インフラ: 足元の動向

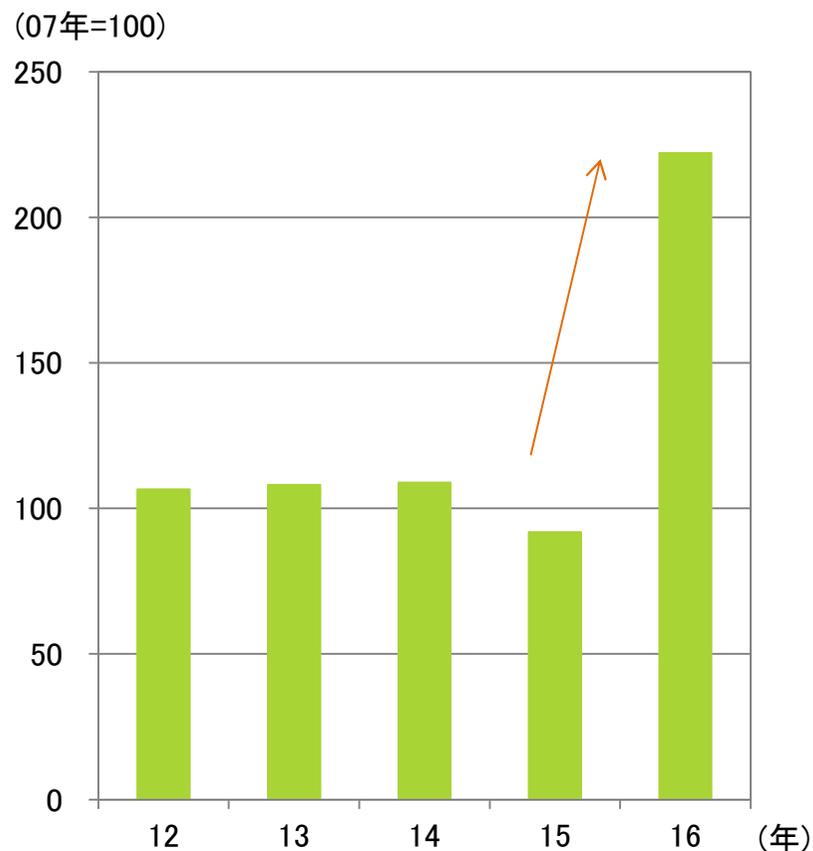
- サウジアラビアでは従来、政府が水道コストの大半を負担してきましたが、16年1月に利用者の負担額が大幅に引き上げられました。利用者負担引上げに対する国民の反発は強く、同年4月には水・電気大臣が辞任に追い込まれましたが、水の消費量は16年も前年比+3.4%増加しています。

上水の消費動向と淡水生産量



(出所) General Authority for Statisticsデータより弊社作成

水道サービスに関する利用者のコスト負担



(出所) SAMAデータより弊社作成

⑤水インフラ:政策の方向性と日系企業の事業機会

- 政府は、上下水道サービスの改善に加え、水資源の確保に向けた再生水の利用割合上昇並びに淡水化能力の拡大を図る方針です。

水インフラに関する政策の方向性と日系企業の事業展開の可能性

政策の方向性・KPI(括弧内は数値目標の単位)			現状	目標
上下水道サービスの改善	上水	損失率の低減	25%	15%
		貯水期間の長期化(日)	0.4	3
		人口カバー率引上げ	87%	92%
		利用者によるコスト負担割合の引上げ	30%	100%
		新規サービス提供に要する期間(営業日)	68	30
	下水	人口カバー率引上げ	60%	65%
		排水設備(洪水防止)のカバー率引上げ	25%	35%
新規サービス提供に要する期間(営業日)		44	30	
再生水の利用及び淡水化能力拡大	再生水	下水処理水の利用割合上昇	17%	35%
	淡水化	淡水化能力の拡大(m ³ /日)	51	73
		戦略的パートナーを通じた淡水生産割合	16%	52%

日系企業の事業展開の可能性

上下水道サービスの改善に向けた技術提供、システム構築

再生水の生成・利用の最適化・効率化に向けた技術提供

海水淡水化に向けた正浸透技術や装置の開発・導入

(出所) Saudi Vision 2030資料、外務省・経済産業省資料より弊社作成

⑥建設・不動産：足元の動向

- 建設・不動産の名目GDPは、インフラ整備の進展に加え不動産価格の高騰もあり、拡大傾向で推移しています。
- 建設中プロジェクトの受注先をみれば、現地企業その他、米国、中国、韓国企業等が高いシェアを占めています。

建設・不動産関連の名目GDP内訳

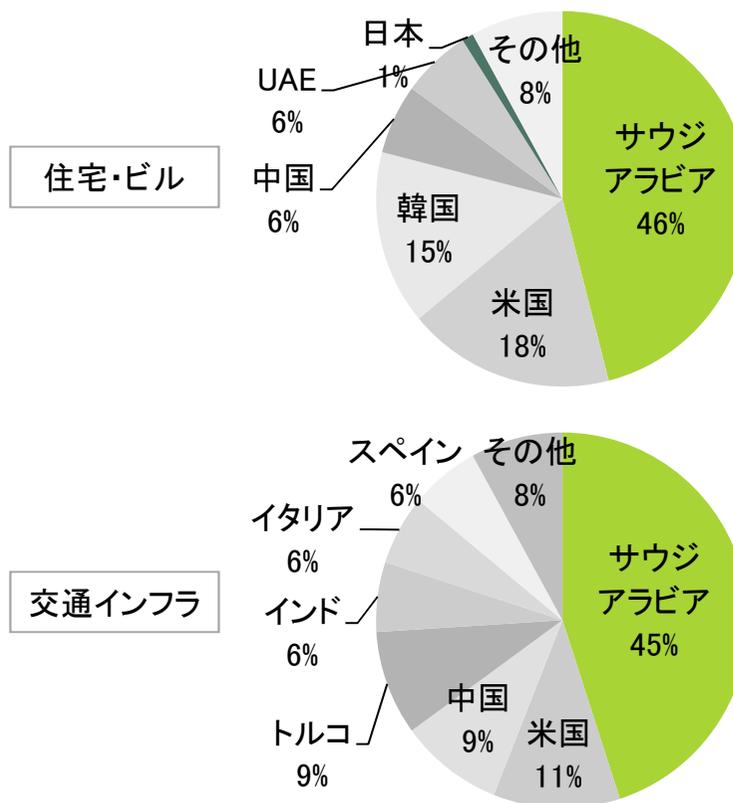
単位：十億USDドル

	10年	16年(注)	10→16年 CAGR
建設	24	43	+9.9%
住宅・ビル	12	18	+7.5%
インフラ	13	25	+11.8%
交通	3	8	+18.3%
その他	10	16	+9.3%
不動産	24	51	+13.9%

(注)16年の住宅・ビル、交通、その他インフラの値はBMI推計値。

(出所) General Authority for Statisticsデータ、BMI資料より弊社作成

建設中プロジェクト受注企業の国籍別シェア



(出所) BMIデータより弊社作成

⑥建設・不動産：政策の方向性と日系企業の事業機会

- 政府は民間資本の活用等を通じて、不動産開発、住宅供給、及び公共交通網の整備を進める方針です。

建設・不動産に関する政策の方向性と日系企業の事業展開の可能性

政策の方向性・KPI(括弧内は数値目標の単位)		現状	目標	
不動産開発 及び住宅供給 の促進	不動産セクターのGDP構成比の引上げ	5%	10%	
	開発許可取得に要する期間の短縮(日)	730	60	
	住宅購入価格の年収倍率の引下げ(倍)	10	5	
交通インフラの整備	交通 インフラ 全般	遅延プロジェクトの削減	60%	25%
		包括的な交通網整備の着工(都市)	11	16
		公共交通網整備計画の策定(件)	-	20
	鉄道	輸送能力不足により運搬出来ないコンテナ比率の低下	40%	10%
		定時出発・到着率の引上げ	80%	90%
	港湾	コンテナ船の停泊期間短縮(日)	14	5
	民間資本 活用	道路の建設・運営に関する民間セクターの参画	NA	5%
		鉄道網の開発・運営に関する民間セクターの参画	5%	50%
		港湾の開発・運営に関する民間セクターの参画	30%	70%

日系企業の事業展開の可能性

住宅建設・販売ツールの提供
(マーケティングのための
バーチャル・リアリティ技術等)

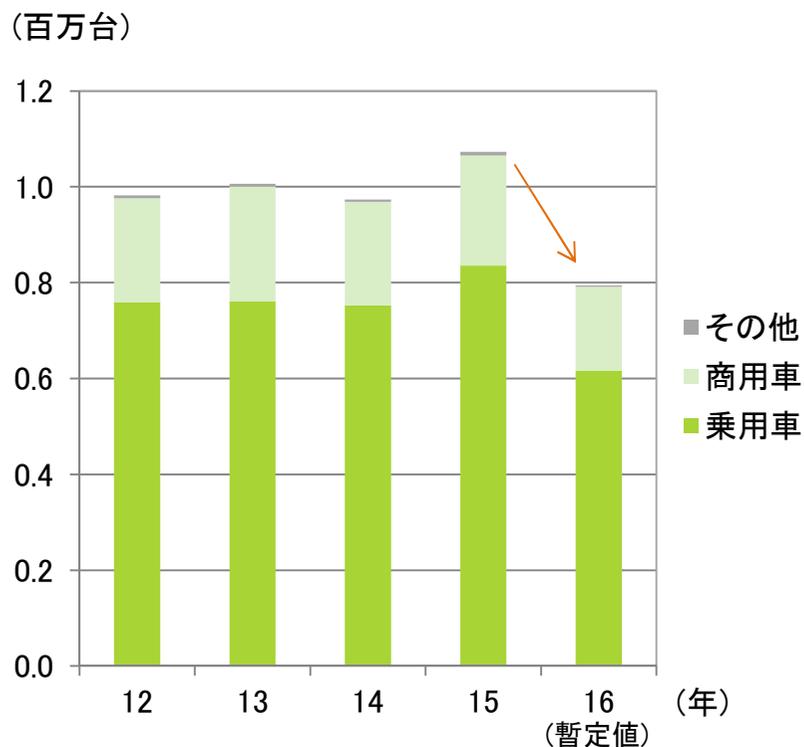
都市基盤整備・不動産開発に
向けたシステム・技術の提供
(鉄道、都市監視システム、
環境マネジメントシステム等)

(出所) Saudi Vision 2030資料、外務省・経済産業省資料より弊社作成

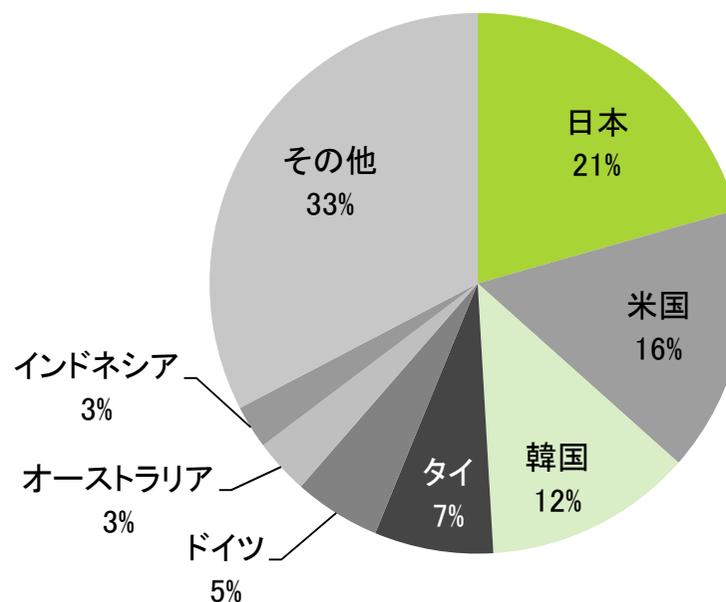
(参考)自動車:足元の動向

- 16年の自動車輸入台数は、景気の伸び悩みがみられる中、15年に実施された景気刺激策の反動もあって、乗用車・商用車共に減少しています(全体で前年比▲26%)。
- 輸入相手国としては日本が最大ですが、足元では低価格車を強みとする韓国のシェアが拡大しています。

自動車輸入台数



自動車関連製品(部品を含む)の国別輸入割合(16年)



(参考) 石油化学: 足元の動向

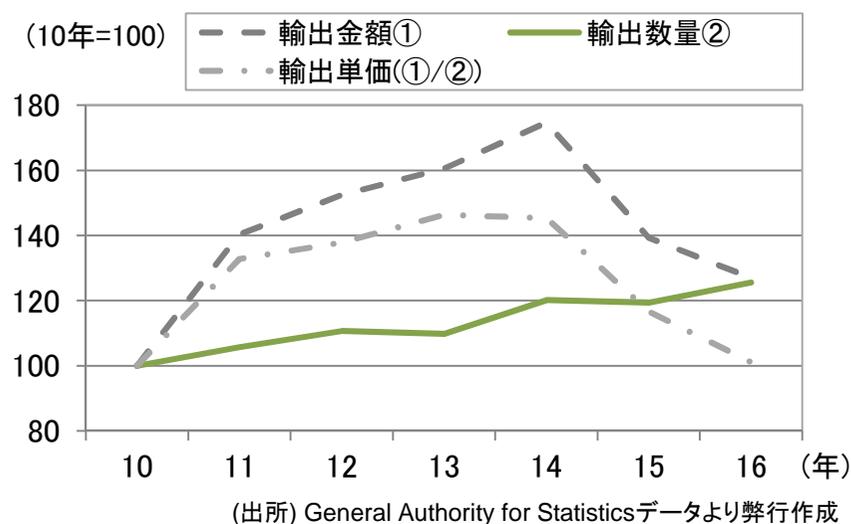
- 石油化学品の輸出金額は油価下落により足元減少していますが、輸出重量は増加傾向が続いています。
- サウジアラビアでは政府がエタン等の原材料価格を決定しています。16年には同価格が引き上げられたことから、米国・アジア諸国等と比較したコスト面での優位性は、従来と比べて限定的となってきています。

石油化学製品の品目別輸出金額・輸出重量

	16年 輸出金額 (百万USD)	構成比	10-16年 CAGR	16年 輸出重量 (千トン)	10-16年 CAGR
合成樹脂 (一次製品)	13,874	50%	+4.6%	14,001	+6.1%
有機化学品	8,815	32%	+2.9%	17,455	+0.8%
無機化学品	1,529	6%	+30.3%	4,755	+26.1%
化学肥料	903	3%	-5.3%	4,170	-1.0%
精油・芳香性物質等	847	3%	+3.1%	473	+4.0%
合成樹脂 (一次製品以外)	687	2%	+8.2%	415	+8.2%
化学製品	543	2%	+1.2%	382	+2.9%
染料	271	1%	-7.0%	165	-6.1%
ゴム製品	34	0%	-0.4%	15	-1.1%
合計	27,503	100%	+4.1%	41,831	+3.9%

(出所) General Authority for Statisticsデータより弊社作成

石油化学製品の輸出金額・数量・単価



原材料価格(サウジアラビア政府が決定)

原材料	～15年	16年～
エタン	0.75USD/百万Btu	1.75USD/百万Btu
メタン		1.25USD/百万Btu
プロパン	日本のナフサ価格 × 72%	日本のプロパン価格 × 80%
ブタン		日本のブタン価格 × 80%

(出所) Jadwa Investmentレポートより弊社作成